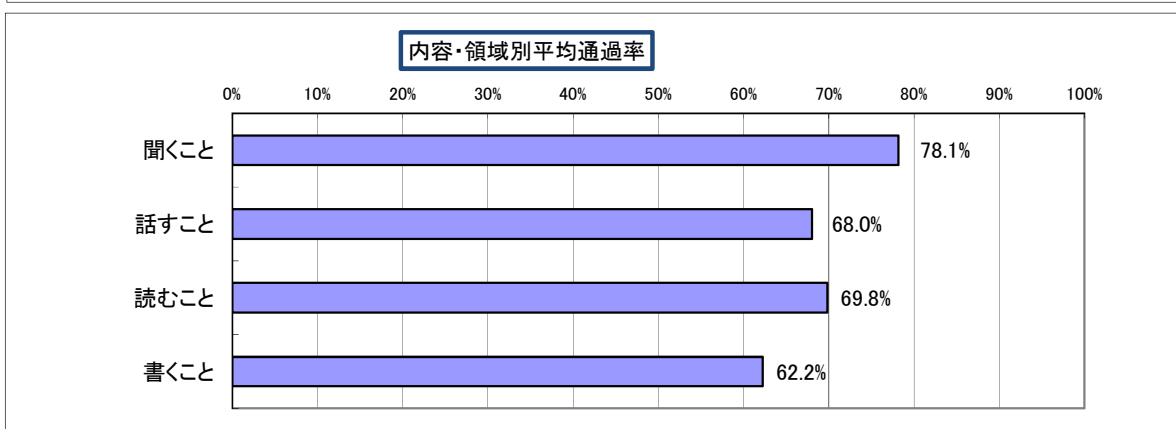
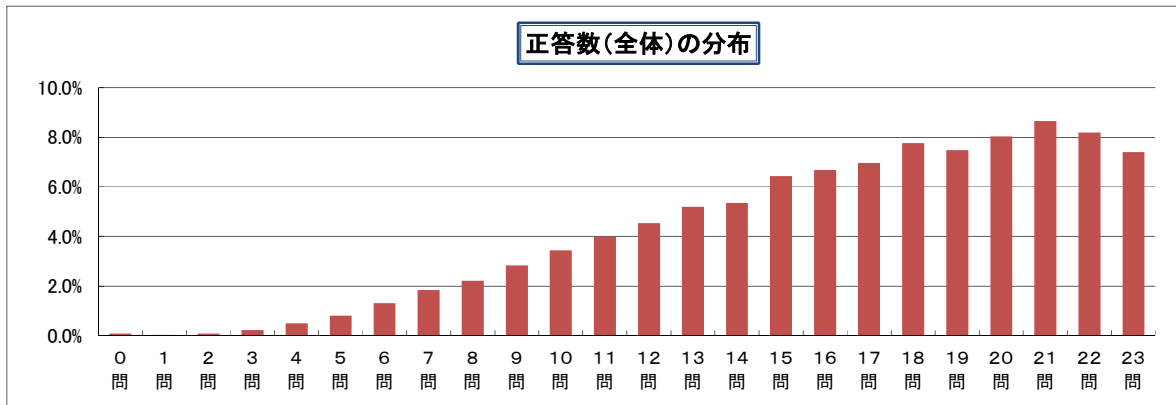
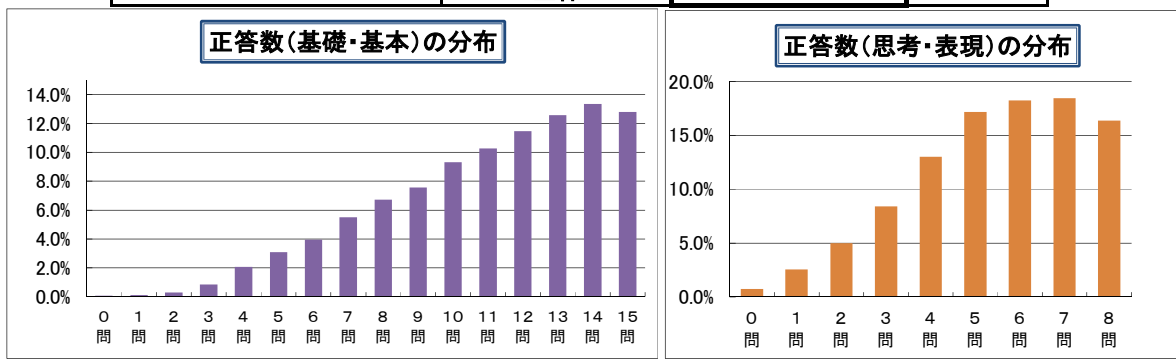


(1) 中1平均通過率と受検者の正答数分布

学年別平均通過率	基礎・基本	中1	中2
	思考・表現	73.2%	63.0%
	全体	68.2%	56.4%
		71.5%	60.4%



- 「基礎・基本」については、平均通過率が目標の80%を越えたのは15問中4問であり、昨年度より2問増えた。また、昨年度よりも通過率が改善した問題が10問であり、改善が図られつつある。一方で、語順整序の問題は昨年度よりも通過率が下がっており、特に be 動詞を使った否定文の語順を答える問題は10ポイント以上低くなっている。
- 「思考・表現」については、平均通過率が目標の50%を越えたのは8問中7問であった。「聞くこと」の領域は、まとまりのある英語を聞いて必要な情報を捉える新規問題の平均通過率が90%を越えるなど、目的に応じて英語を聞いて理解する力は身に付いていると思われる。一方、昨年度と比較して平均通過率が低くなった課題としては、ポスターの内容を表す英文を選択する問題と、日常的な話題について読んだことから概要を把握し、自分の考えを書く問題がいずれも20ポイント以上低くなっていることが挙げられる。

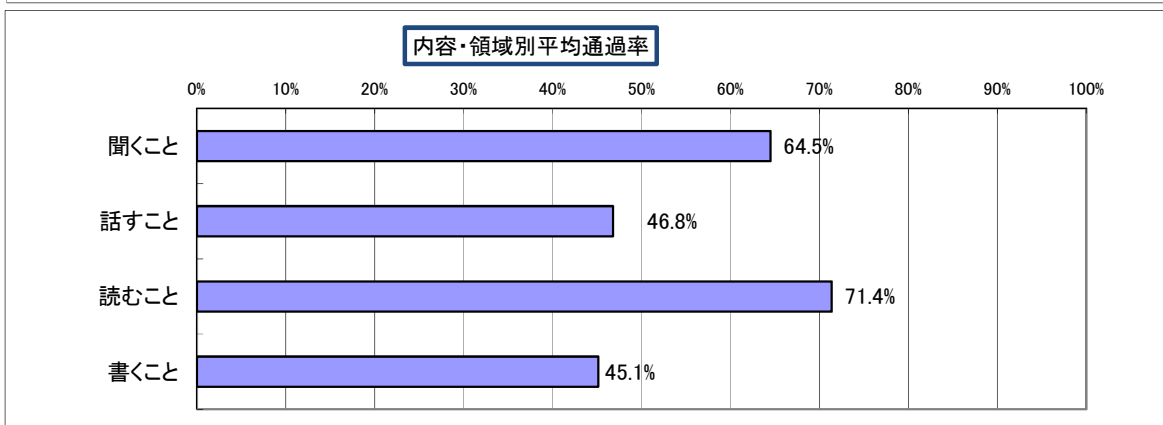
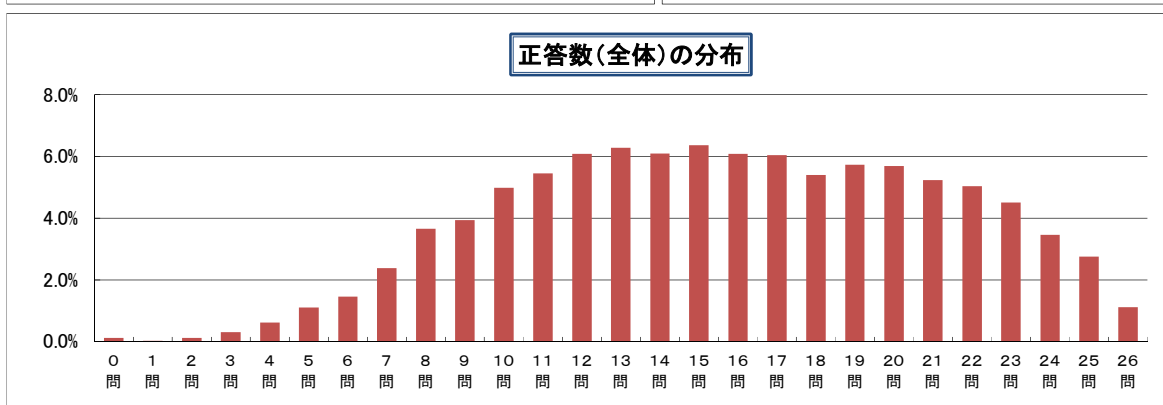
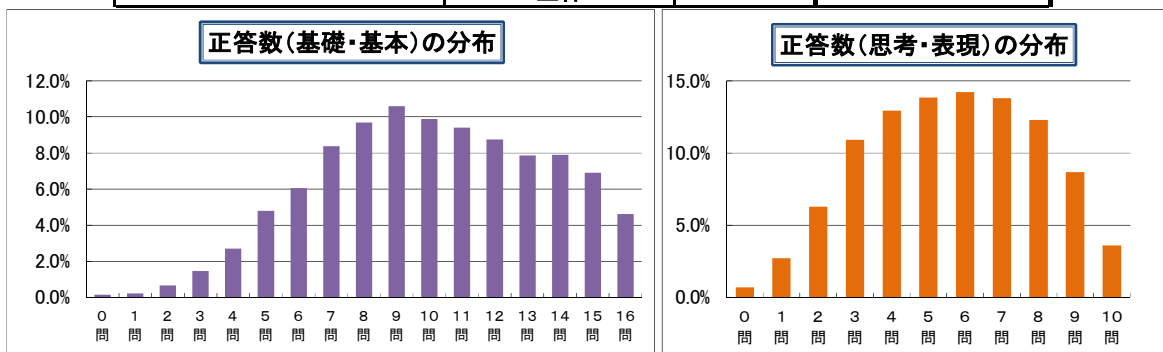
(2) 中1各設問の分類と平均通過率

英語（中学校第1学年）

	設問			出題 学年	問題内容別				内容領域別			県平均通過率			校内通過率			出題の意図	
	大問	中間	小問		基礎・ 基本	思考・ 表現	聞く こと	話す こと	読む こと	書く こと	基礎・ 基本	思考・ 表現	無解答率	基礎・ 基本	思考・ 表現	無解答率			
1		(1)		中1	○		○						83.3%		0.0%	0.0%	0.0%	日常的な場面における英語を聞いて、適切な絵を選択することができるか。	
2	1	(2)		中1	○		○						88.7%		0.0%	0.0%	0.0%	日常的な場面における英語を聞いて、適切な絵を選択することができるか。	
3		(3)		中1	○		○						65.2%		0.0%	0.0%	0.0%	日常的な話題に関する対話を聞いて、適切な絵を選択することができるか。	
4		(1)		中1	○		○	○					76.8%		0.1%	0.0%	0.0%	身近な話題に関する応答となるよう、適切な文を選ぶことができるか。	
5	2	(2)		中1	○		○	○					75.6%		0.1%	0.0%	0.0%	身近な話題に関する応答となるよう、適切な文を選ぶことができるか。	
6		(3)		中1	○		○	○					49.8%		0.1%	0.0%	0.0%	身近な話題に関する応答となるよう、適切な文を選ぶことができるか。	
7	3			中1		思・表 1	○							91.0%	0.1%		0.0%	まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を捉えることができるか。	
8	4			中1	○		○	○					76.5%		0.1%	0.0%	0.0%	コミュニケーション場面から考えられる質問を選択することができるか。	
9		(1)		中1	○		○						95.6%		1.0%	0.0%	0.0%	自己紹介を聞いて、その内容を捉えることができるか。	
10	5	(2)		中1		思・表 2	○	○						78.8%	4.1%		0.0%	0.0%	捉えた内容について適切に応じることができるか。
11	6			中1	○				○				77.7%		0.1%	0.0%	0.0%	表と対話文の内容を把握し、適切な語を選択することができるか。	
12		(1)		中1	○				○				79.5%		0.2%	0.0%	0.0%	対話文の内容を把握し、適切な語を選択することができるか。	
13	7	(2)		中1		思・表 1			○					51.6%	0.3%		0.0%	0.0%	ポスターの内容を表す英文を選択することができるか。
14		①		中1	○				○				84.7%		0.2%	0.0%	0.0%	対話文の内容を正確に把握し、対話の流れに合う疑問文を選択することができるか。	
15	8	②		中1	○				○				57.5%		0.3%	0.0%	0.0%	対話文の内容を正確に把握し、対話の流れに合う疑問文を選択することができるか。	
16		(2)		中1		思・表 1			○					80.6%	0.3%		0.0%	0.0%	英文の概要を把握し、話題として適切なものを選ぶことができるか。
17	9			中1		思・表 1			○					57.1%	0.5%		0.0%	0.0%	英文の要点を把握し、文脈から判断して適切な英文を選択することができるか。
18	10			中1		思・表 2			○					33.7%	8.3%		0.0%	0.0%	日常的な話題について読んだことから概要を把握し、自分の考えを書くことができるか。
19		(1)		中1	○			○	○				57.6%		0.8%	0.0%	0.0%	be動詞を使った否定文の正しい語順を答えることができるか。	
20	11	(2)		中1	○			○	○				63.0%		0.8%	0.0%	0.0%	疑問詞＋名詞を使った疑問文の正しい語順を答えることができるか。	
21	12			中1	○			○	○				66.1%		3.0%	0.0%	0.0%	対話の流れから判断して、適切な語を補って英文を完成させることができるか。	
22		A		中1		思・表 3			○					92.5%	2.6%		0.0%	0.0%	自己紹介を書く相手や目的を意識して、まとまりのある英文を書くことができるか。
23	13	B				思・表 3			○					60.6%	2.6%		0.0%	0.0%	
計				問題数	15	8	10	8	8	5									
				出題割合	65.2%	34.8%	40.0%	32.0%	32.0%	20.0%									
										73.2%			68.2%			1.1%		0.0%	
													0.0%			0.0%		0.0%	
													71.5%					0.0%	

(3) 中2平均通過率と受検者の正答数分布

学年別平均通過率		中1	中2
	基礎・基本	73.2%	63.0%
	思考・表現	68.2%	56.4%
	全体	71.5%	60.4%



- 「基礎・基本」について、平均通過率が目標の80%を超えたのは15問中4問であり、昨年度と同数であった。昨年度よりも通過率が改善した問題が9問であり、改善が図られつつある。一方で、語順整序の問題、文脈から判断して適切な英語を書く問題や、与えられた情報について英文を書く問題については、正答率が30%に満たず、無解答率が10%を超える問題も見られた。また、正答数の少ない層が増えており、全体の正答数の分布にばらつきが多くなる要因となっている。
- 「思考・表現」について、平均通過率が目標の50%を超えたのは8問中5問であり、昨年度より3問増えた。新学習指導要領を踏まえた出題に対応できる生徒が増えつつあると思われる。ただし、英語を聞いたり読んだりした後に書く問題については、昨年度よりもやや改善しているが、無解答率が20%前後と依然として高い。与えられたテーマについてまとまりのある英文を書く問題については、内容の適切さが50%を超えた。また、正確さが約8ポイント上がるなど、やや改善が見られる。

(4) 中2各設問の分類と平均通過率

英語（中学校第2学年）

大問	設問			出題 学年	問題内容別				内容領域別				県平均通過率			校内通過率			出題の意図		
	中問	小問			基礎・ 基本	思考・ 表現	聞く こと	話す こと	読む こと	書く こと	基礎・ 基本	思考・ 表現	無解答率	基礎・ 基本	思考・ 表現	無解答率					
1		(1)		中1	○		○						44.3%		0.1%	0.0%		0.0%	日常的な場面における英語を聞いて、適切な絵を選択することができるか。		
2	1	(2)		中2	○		○						79.9%		0.0%	0.0%		0.0%	日常的な場面における英語を聞いて、適切な絵を選択することができるか。		
3		(3)		中2	○		○						73.7%		0.0%	0.0%		0.0%	日常的話題に関する対話を聞いて、適切な絵を選択することができるか。		
4	2			中1・2		思・表1	○							89.5%	0.1%		0.0%	0.0%	まとまりのある英語の概要を理解することができるか。		
5		(1)		中1・2		思・表2	○							68.1%	0.2%		0.0%	0.0%	まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を捉えることができるか。		
6		(2)		中1・2		思・表1	○							47.3%	0.4%		0.0%	0.0%	まとまりのある英語を聞いて、要点を捉えることができるか。		
7	4			中2		思・表1	○	○						48.6%	18.6%		0.0%	0.0%	聞いて把握した内容について、適切に応じることができるか。		
8		(1)		中2	○				○				68.3%		0.3%	0.0%		0.0%	英文を読んで、文脈から判断して適切な語を選択することができるか。		
9		①		中2	○				○				65.1%		0.2%	0.0%		0.0%	文と文のつながりに注意して、正しい英文を選択することができるか。		
10		②		中2	○				○				83.3%		0.2%	0.0%		0.0%	文と文のつながりに注意して、正しい英文を選択することができるか。		
11		(1)		中2		思・表1			○					76.3%	0.1%		0.0%	0.0%	説明文の概要を的確に捉え、説明されているものを選択することができるか。		
12		(2)		中2	○				○				82.8%		0.2%	0.0%		0.0%	説明文の内容を正確に捉え、正しい絵を選択することができるか。		
13		(3)		中2	○				○				93.1%		0.4%	0.0%		0.0%	グラフの内容を正しく表す英文を選択することができるか。		
14				中2	○				○				91.1%		0.4%	0.0%		0.0%			
15		(1)		中2		思・表1			○					45.8%	0.5%		0.0%	0.0%	まとまりのある英文を読んで、概要を理解することができるか。		
16		(2)		中2		思・表1			○					62.5%	0.9%		0.0%	0.0%	まとまりのある英文を読んで、要点を理解することができるか。		
17	8			中2		思・表2			○					45.3%	23.4%		0.0%	0.0%	社会的な話題について、自分の考えが書けるよう概要を読み取ることができるか。		
18		(1)		中2	○				○				77.1%		0.5%	0.0%		0.0%	助動詞を伴う否定文の用法を理解し、正しい語順を答えることができるか。		
19		(2)		中2	○				○				54.9%		0.5%	0.0%		0.0%	二つの目的語をとる動詞の用法を理解し、正しい語順を答えることができるか。		
20		(3)		中2	○				○				46.0%		0.7%	0.0%		0.0%	不定詞の副詞的用法を理解し、正しい語順を答えることができるか。		
21	10			中1	○				○				29.1%		14.0%	0.0%		0.0%	対話文中の空所に当てはまる表現を文脈から判断し、適切な英語を用いて表現できるか。		
22		(1)		中1	○				○				55.3%		6.8%	0.0%		0.0%	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができるか。		
23		(2)		中1	○				○				39.7%		9.0%	0.0%		0.0%	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができるか。		
24		(3)		中2	○				○				23.6%		12.8%	0.0%		0.0%	与えられた情報に基づいて、不定詞を伴う3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができるか。		
25		内容		中1・2		思・表3			○					51.9%	14.1%		0.0%	0.0%	与えられたテーマについて、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある英文を書くことができるか。		
26		正確		中1・2		思・表3			○					28.6%	14.1%		0.0%	0.0%			
計				問題数	16	10	7	8	10	9											
				出題割合	61.5%	38.5%	33.3%	38.1%	47.6%	42.9%											
										63.0%			56.4%			4.6%			0.0%		
										60.4%						0.0%					

(5) 英語（授業改善の視点）

【読むこと】

ア 出題について

- ・ 社会的な話題について、自分の考えが書けるよう概要を読み取ることができるか。

イ 特徴ある問題から

- ・ 中2大問8 120語程度の英文を読み、質問に答える問題

8 次は、中学生のカイト（Kaito）が書いた英文です。これを読んで考えたことを英文で書く宿題が出ました。あなたの考えを英文で書きなさい。なお、英文はIまたはWeで書き始めること。

I'm going to talk about this book. It's a book about Malala. Do you know her?
 Malala was born in Pakistan. Her father made schools for boys and girls there. She liked to go to school, but from 2008, the girls couldn't learn at school. She started to write about her life. Many people in the world read her blog and knew about the difficult times of the people in Pakistan.
 In 2012, Malala was shot, but she lived. And she got the Nobel Prize in 2014.
 Malala thinks that every boy and girl has the right to go to school, but in some places now, many boys and girls can't. They sometimes have to work for their family.

(正答例) (I think) Japanese students are happy.

We are happy (because we can go to school).

I hope everyone can go to school. など

通過率 45.3% 無解答率 23.4%

考えられる課題

- 初見の英語の概要や要点を捉える読み方が身に付いていない。
- 読んだ内容について、自分の考えや気持ちを表出することに慣れていない。
- 実際のコミュニケーション場面を想定した問題に慣れていない。

ウ 授業改善のポイント（英文の読ませ方の基本的な指導方法については、令和2年度報告書を参照）

□ 年間を通じて初見の英文に触れさせる。

初見の英文を最後まで読み通す力を付ける必要があります。指導に当たっては、適度な難易度の自作教材を複数用意して読ませるほかに、教科書本文を活用する方法もあります。後者のポイントは、内容理解の活動前に言語材料の指導を終わらせることです。単元前半は言語材料に慣れ親しませ、その後、既習の知識のみを頼りに本文の内容理解の活動を行います。

□ テキストタイプに応じた内容把握の指導を行う。

一文ずつ時間をかけて日本語訳する活動に終始するのではなく、テキストタイプに応じた発問の工夫を行います。発問は英語で行い、学習形態を工夫しながら生徒にも英語で答えさせるようにします。

テキストタイプ	読み取るべき内容
ニュースやアナウンスなどの日常的な話題の文章	必要な情報（キーワードなど）
物語などの時系列に語られる文章	概要（話の大まかな流れ）
説明文やスピーチなどのメッセージを含む文章	要点（筆者が述べたいこと）

□ 実際のコミュニケーション場面を想定した上で、読んで（あるいは聞いて）理解した内容について、自分の考えや気持ちを話したり書いたりする活動を継続的に行う。

表現活動では、「何のために」、「誰に対して」などの目的を明確にします。発音や発言内容の質を高める方法としては、音読指導の徹底が効果的です。単語での発話も認めた上で、相手を複数回変えてやり取りに習熟させたり、優れたペアを紹介した後に活動を再開する「中間指導」を行ったりすることで、表現の量や質を高めていきます。書く活動を話す活動の後に位置付けることで、スムーズに取り組めるようになります。

□ 表現の「適切さ」を評価し、生徒の意欲を高める。

「思考・表現」を問う問題では「コミュニケーションの目的、場面、状況に応じた適切さ」を評価します。文法的な誤りを含んでいても、コミュニケーションに支障をきたさない誤りであり、「適切」と判断できる表現は正解とする問題を取り入れるなど、評価の在り方を見直して、生徒の表現しようとする意欲を引き出しましょう。

【書くこと】

ア 出題について

- 対話文中の空所に当てはまる表現を文脈から判断し、適切な英語を用いて表現させる問題を出題。
- 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文、不定詞を伴う3人称単数現在時制の肯定文を正確に書く問題を出題。

イ 特徴ある問題から

- 中2大問9 基本文の語順を答える問題
- 中2大問10 対話の場面を理解し、英文を完成させるために適切な表現を答える問題
- 中2大問11 基本文を用いて、第3者を紹介するための英文を書く問題

<p>9 次の(1)から(3)までのそれぞれが自然な対話となるように、□の部分に〔 〕内の語句を並べかえて英文を完成させなさい。答えは、左から順に記号で書きなさい。(※〔 〕は省略)</p> <p>(1) 自宅で</p> <p>A: Can I go shopping now? B: No, you can not go out. Dinner is ready. 通過率 77.1% (R2 類似 (It is not mine.) 75.3%)</p> <p>(2) 放課後に</p> <p>A: Tomorrow is Meg's birthday. I will give her a bag. She usually uses old one. B: Sounds great. 通過率 54.9% (R2 類似 (... show me your book?) 64.0%)</p> <p>(3) 登校中に</p> <p>A: What did you do yesterday? B: I went to the zoo to see koalas with my family. 通過率 46.0% (R2 類似 (... restaurant to have dinner ...) 75.3%)</p>	<p>10 例を参考にして、話が成り立つように、()内の語に不足している語を補って、英文を完成させなさい。なお、()内の語は、必要に応じて形を変えること。</p> <p>冬休み (winter vacation) 明けに、教室で</p> <p>Chris: What did you do in the winter vacation? Takashi: My family and I went to see our grandparents in Yakushima. (stay → We stayed) there for a week. Chris: Wow! Wonderful! 通過率 29.1% 無解答率 14.0%</p> <p>11 次の表の(1)から(3)は、ある男子中学生に関する現在の情報を示しています。これらの情報を用いて、彼について説明する英文をそれぞれ書きなさい。</p> <p>(1) 出身 Korea ☞ He is from Korea. 通過率 55.3% 無解答率 6.8%</p> <p>(2) 住んでいる都市 London ☞ He lives in London. 通過率 39.7% 無解答率 9.0%</p> <p>(3) 将来の夢 歌手 (singer) になること ☞ He wants to be a singer. His dream is to be a singer. 通過率 23.6% 無解答率 12.8%</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

考えられる課題

- 各学年で習得させるべき基本文(否定文、二つの目的を取る動詞、不定詞)が定着していない。
- 代名詞などの言語材料をコミュニケーション場面で使いこなす力を身に付けさせていない。
- 過去の調査から明らかになっている課題を解決させないまま調査を受けさせている。

ウ 授業改善のポイント

□ 定着までの段階を細かく設定する。

基本文の指導に当たっては、例えば、①英語を聞いたり読んだりする活動を通して、場面や状況から意味を理解する段階、②場面や状況を意識しながら、書かれた英語をすらすらと気持ちを込めて読む段階、③言いたい表現を英語ですらすらと気持ちを込めて言う(日本語を英語に直す)段階、④目的や場面、状況等に応じて英語で話す段階、⑤自分が話した英語を書く段階など、細かな段階を設定して定着を図ります。

□ コミュニケーション場面で知識を活用させながら、徐々に正確さを高めていく。

既習事項を自在に使いこなせるようになるには、それらをコミュニケーション場面で使う経験を繰り返す必要があります。身に付けるべき表現を使う必然性のある場面を設定した上で、誤りがあったら修正を加えながら、徐々に表現の正確さを高めていきましょう。既習事項の意味や用法を振り返らせたいときは、要点をプレゼンテーションソフトのスライドにまとめて大型テレビ等に提示することで、短時間で繰り返し復習することができます。

□ 意図的に英語を使用し、やり取りを通して英語力を高める。

生徒が既習の知識の多様な用法に気付く、自在に使いこなせるようになるまで、教師自身が粘り強く英語を使用することが大切です。教師の自然な英語使用は、生徒にとって、相手にうまく伝わらない時や言い間違えた時の対処法などを学ぶ機会にもなります。日頃から自分の考えや気持ちを含めて、平易な英語で生徒に語るようにしましょう。